

## 2022-2023年度の維持管理活動の報告

### 【目次】

1. 維持管理作業（3月22日(水)）の報告（協議会実施分）・・・・・・・・ P.2
2. 維持管理作業（5月20日(土)）の報告（一般募集分）・・・・・・・・ P.5
3. 維持管理作業（6月14日(水)）の報告（協議会実施分）・・・・・・・・ P.8
4. 維持管理作業（6月17日(土)）の報告（一般募集分）・・・・・・・・ P.9

### 【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。  
ご了承下さい。

# 1. 維持管理作業（3月22日(水)）の報告（協議会実施分）

- 対象：中池保全エリア・サクラソウ群落再生地/河原草地/中池エリア東側の耕作進行地
- 目的と内容：
  - ・サクラソウ群落再生地では、過年度移植植物の株のモニタリング、土壌水分の計測、2021年度移植株の植え直し、2021年度移植地の土壌の採取（プランター管理用）、セイタカアワダチソウの伐根と運び出し、落ち葉の除去、竹林周辺のノイバラの除去を行いました。
  - ・河原草地ではカワラナデシコの生育の確認を行いました。
  - ・オギ群落再生地では「埼玉セブンの森」第2回活動の作業内容について確認しました。※作業後、運営事務局で看板の補修を行いました。
  - ・中池エリア東側で耕耘されている場所の視察を行いました。
- 参加者：堂本委員長、荒木委員、小川委員、川島委員、宮川委員、運営事務局（4名）

(1)中池保全エリア・サクラソウ群落再生地/河原草地/中池エリア東側の耕作進行地

非表示

場所	活動の振り返り	今後の方向性
サクラソウ群落再生地	非表示	非表示
河原草地	・ 外来植物の発芽を多数確認した。	・ 当面は外来種抑制が必要であり、継続して草刈りを行う。
オギ群落	・ 堆積する枯草がノイバラに絡みながらオギ群落の上を覆っている様子であった。	・ 枯草やノイバラの除去を「埼玉セブンの森」の活動で行ってもらうこととする。

# 1. 維持管理作業（3月22日(水)）の報告（協議会実施分）

非表示

# (参考) サクラソウ群落再生地 移植経過とモニタリング結果

非表示

## 2. 維持管理作業（5月20日(土)）の報告（一般募集分）

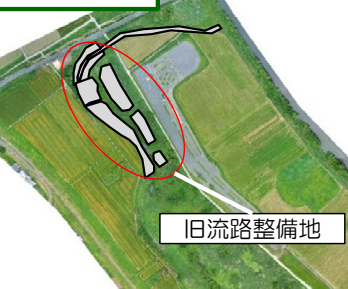
- 対象：(1)上池呑口・旧流路整備地 (2)中池保全エリア・サクラソウ群落再生地/ 河原草地 / チガヤ群落再生地 / 通路
- 内容：(1)・上池オオカワチシャの除草（解散後、運営事務局のみで実施）  
 (2)・サクラソウ群落再生地の外来植物等の除草と河原草地のアレチヌスビトハギの伐根
  - ・本田航空敷地内にてチガヤ株を掘り取り、チガヤ群落再生地へ株の移植と、昨年度に移植したチガヤの生育状況のモニタリング
  - ・中池通路脇のシンジュの伐採
- 対応者：堂本委員長、小川委員、荒木委員、一般ボランティア（6名(内リピーター3名)）、運営事務局（4名）

### (1)上池呑口・旧流路整備地

#### 作業状況



#### 確認位置



#### 作業前後

##### サクラソウ群落再生地

非表示

##### 河原草地



### (2)中池保全エリア

#### 作業状況



#### 作業範囲

非表示



## 2. 維持管理作業（5月20日(土)）の報告（一般募集分）

チガヤコドラート設定箇所

2023年度移植地①



2022年度移植地①



2023年度移植地②



2022年度移植地②



Google earth



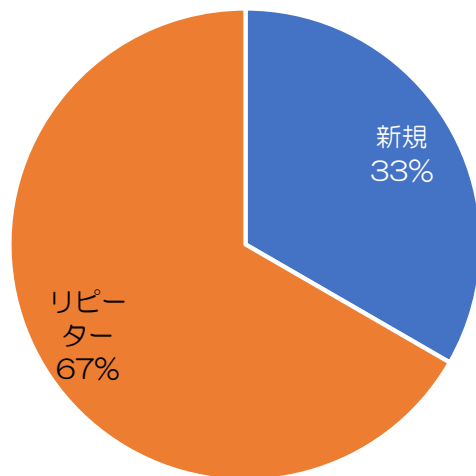
## 2. 維持管理作業（5月20日(土)）の報告（一般募集分）

【参加者属性とアンケート結果（抜粋）】 ※詳細は参考資料-1をご参照ください。

### ●申し込み/参加状況（アンケート設問項目外）

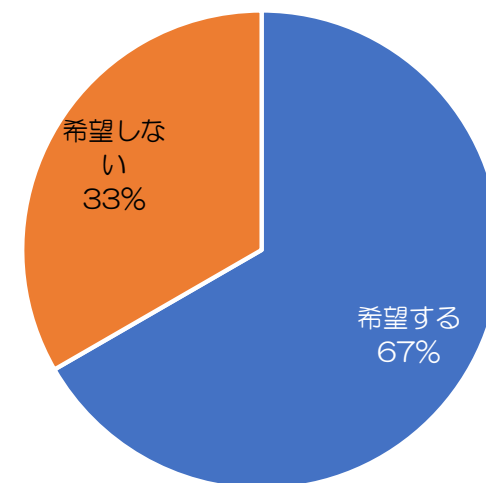
項目	回答数（人）
申込者数	9
参加者数	6
・新規	2
・リピーター	4

参加者の新規・リピーター割合



### ●今後の案内について（記述）

項目	回答数（人）
希望する	4
希望しない	2
合計	6



項目	活動の振り返り	今後の方向性	
(1) 上池呑口・旧流路整備地	<ul style="list-style-type: none"> <li>オオカワチシャは4株しか確認されなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度のこれ以上の除草作業は不要と考えられる。</li> <li>次年度以降、改めて生育状況の確認と必要に応じて除草を行う。</li> </ul>	
(2) 中池保全エリア	サクラソウ群落再生地 <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね十分な除草を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、維持管理カレンダーに則った管理を続ける。</li> </ul>	
	河原草地	<ul style="list-style-type: none"> <li>アレチヌスビトハギの根の掘り取りに時間を取られ、十分な除草を行うことはできなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、維持管理カレンダーに則った管理を続ける。</li> <li>なお、より一層の作業時間を確保が必要である。</li> </ul>
	チガヤ	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度移植したコドラート内のチガヤは、種子をつけ、生育している様子が伺えた。</li> <li>さらに、再生地内にチガヤの生育が広く点在しているのが確認された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本田航空による定期的な機械除草により生育環境が整い、土中にあった種子や根茎から発芽したものと思われる。</li> <li>引き続きモニタリングしていく。</li> </ul>
	その他（通路）	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急性の高い作業として、通路脇に生育するシンジュ（幼木）の伐採を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中池保全エリア内ではシンジュの幼木が多数見られ、伐採を行っていく必要がある。</li> </ul>
(3) ボランティアの申し込み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>リピーターはDMによってイベント情報を知り、新規はリピーターが知人等を誘ったことによって参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リピーターとのつながりを大切にしたい広報を継続する。</li> </ul>	

# 3. 維持管理作業（6月14日(水)）の報告（協議会実施分）

- 対象：(1)中池保全エリア・サクラソウ群落再生地/オギ群落再生地（植樹箇所周辺を含む）/河原草地
- 目的と内容：(1)各エリアにおいて、外来植物やつる性植物等の除草を行いました。  
※予定していた記念樹の入れ替えは、作業時間が足りず未実施となりました。6月17日(土)に実施します。
- 参加者：川島委員、小川委員、宮川委員、運営事務局（4名）

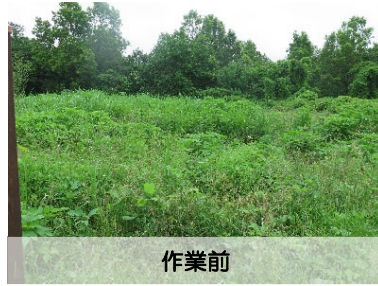
(1)中池保全エリア・サクラソウ群落再生地/オギ群落（植樹箇所周辺を含む）/河原草地

作業前後

サクラソウ群落再生地

オギ群落再生地

河原草地



非表示

作業状況

非表示

作業範囲

非表示

場所	活動の振り返り	今後の方向性
サクラソウ群落再生地	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒメジョオンを中心に伐根し、さらにアレチヌスビトハギの掘り取りを行った。概ね作業を完了できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、外来種等の除草を行っていく。</li> </ul>
河原草地	<ul style="list-style-type: none"> <li>移植したカワラナデシコ株が外来植物等に被圧されているため、周囲の除草（手抜き）を行った。</li> <li>また、アレチヌスビトハギが広範囲に非常に繁茂しており、委員と協議の上、解散後に事務局にて除草（機械使用）を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員との協議の中では、定期的な機械除草の他、業者による根の掘り起こしをする案も上がった。協議会予算等との調整も必要であり、当面は機械除草による維持管理を継続する。</li> </ul>
オギ群落再生地	<ul style="list-style-type: none"> <li>「埼玉セブンの森」活動（4/8）による堆積した枯死植物とノイバラの除去により、まとまったオギ群落が形成されつつあることが確認できた。</li> <li>記念樹は、クヌギ、ハンノキ、アカメヤナギの枯死が確認された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、外来植物やつる植物の草刈りを行う必要がある。</li> <li>次回作業時に入れ替えを行う。</li> </ul>



# 4. 維持管理作業（6月17日(土)）の報告（一般募集分）

- 対象：(1)中池保全エリア・オギ群落再生地（記念植樹エリア） (2)下池整備地
- 内容：(1)・植樹したクヌギ、アカメヤナギ、ハンノキの植え替え（集合前、運営事務局のみで実施）  
(2)・ハンノキ幼木生育促進のための外来植物等の除草  
・ミドリシジミ生息状況調査
- 対応者：堂本委員長、川島委員、荒木委員、堀口委員、長畑委員、一般ボランティア（9名(内リピーター2名)）、運営事務局（4名）

## (1)中池保全エリア

### 作業前後

クヌギ



作業後

アカメヤナギ



作業後

ハンノキ



作業後

エノキ



生育状況

ゴマキ



生育状況

### 作業状況

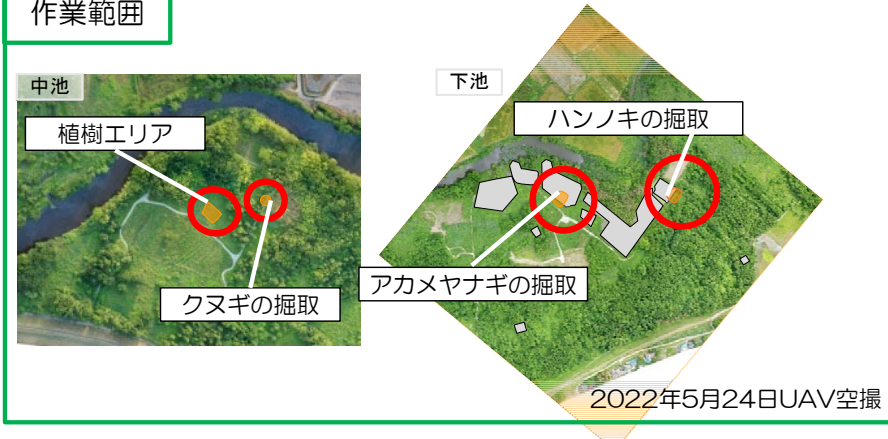


掘り取りの様子（下池整備地）



植え替えの様子

### 作業範囲



### 項目

### 活動の振り返り

### 今後の方向性

(1)中池保全エリア

- ・ 枯死が確認されていたクヌギ、アカメヤナギ、ハンノキの幼木を自然再生地から調達し、植え替えを行った。なお、エノキとゴマキについては、生育状況は良好であった。

- ・ 定期的に生育状況をモニタリングしていく必要がある。



# 4. 維持管理作業（6月17日(土)）の報告（一般募集分）

(2) 下池整備地

作業前後



作業前



作業前

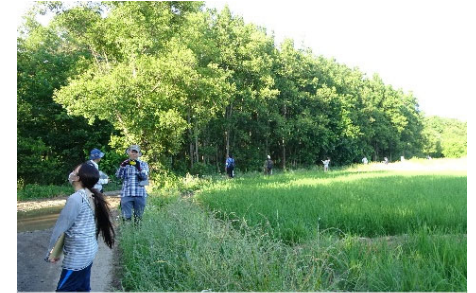
作業範囲

非表示

作業状況



チガヤの移植の様子



外来種等駆除の様子



ミドリシジミの解説の様子



集合写真

# 4. 維持管理作業（6月17日(土)）の報告（一般募集分）

【参加者属性とアンケート結果（抜粋）】 ※詳細は参考資料-2をご参照ください。

●申し込み/参加状況  
（アンケート設問項目外）

●今後の案内について（記述）

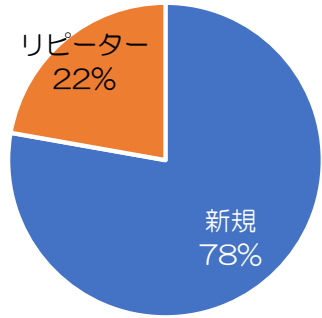
●5. 協議会では、皆様にもミドリシジミをはじめとしたいきもの確認状況調査に協力頂きたいと思っております。お考えをお聞かせください。（MA）

項目	回答数（人）
申込者数	11
参加者数	9
・新規	7
・リピーター	2

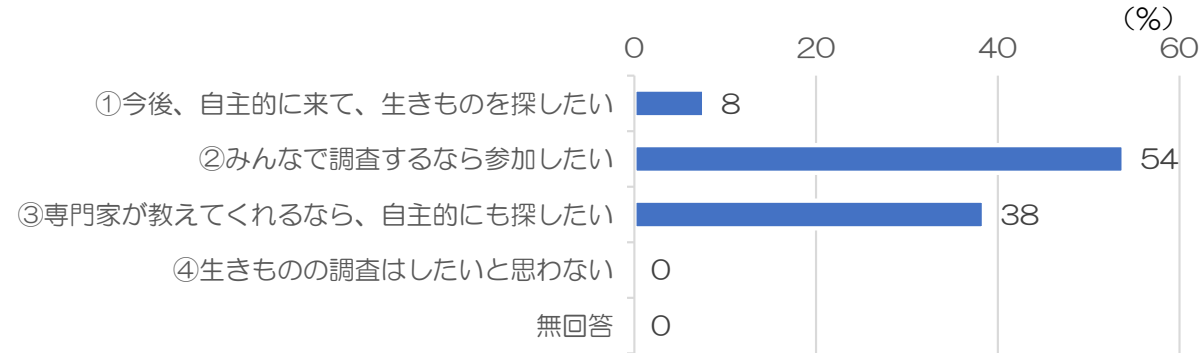
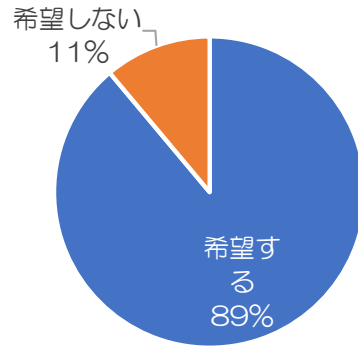
項目	回答数（人）
希望する	8
希望しない	1
合計	9

項目	回答数（人）
①今後、自主的に来て、生きものを探したい	1
②みんなで調査するなら参加したい	7
③専門家が教えてくれるなら、自主的にも探したい	5
④生きものの調査はしたいと思わない	0
無回答	0
合計	13

参加者 新規・リピーター割合



今後の案内について (SA)



項目	活動の振り返り	今後の方向性
(2) 下池整備地	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンノキ幼木周辺の除草は、予定通り完了した。</li> <li>ミドリシジミ調査では、今回はミドリシジミは出現しなかった。</li> <li>出現しなかった原因は、1) 調査時間は一般的なミドリシジミの活動時間帯（夕刻）に合わせていたが、気温が高かったこと、2) 最近の大雨により成虫が減少した可能性があること、3) 今期は発生時期が早まったこと、などが考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き状況を確認しつつ、必要に応じて維持管理をしていく。</li> <li>ハンノキ幼木が大きく育ちつつあるため、喫緊に移植が必要である。</li> <li>次年度もモニタリング調査を継続していく必要がある。</li> <li>調査の設定にあたっては、時期や時間帯などを考慮する。</li> </ul>
(3) ボランティアの参加申込状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の参加者は大学生3名、中学生1名、小学生1名が含まれ、ボランティア活動証明書の発行を希望されていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>証明書発行へのニーズが高い傾向にあり、この情報を添えて、今後大学等への直接の広報を検討する。</li> </ul>
(4) ミドリシジミのモニタリング担い手確保の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般参加者のモニタリング参加に対する考えについて、アンケート項目に加えた。その結果、自主的に行うのはハードルが高く、参加型のニーズが高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会メンバーが指導者となって調査グループを作るなどの体制づくりが考えられる。</li> </ul>